



松高通信

# 風薫る丘

令和7年度7月号(155号)

令和7年7月28日

文責 宮崎 哲郎

## ★新★生徒会発足

6月23日(月)に新生徒会長・副会長・役員の任命式が行われました。これから松浦高校を盛り上げてくれることを期待しています。会長・副会長のあいさつとメンバーの紹介をします。

### 生徒会長インタビュー



生徒会長

#### Q.生徒会長になろうと思ったのはなぜですか？

A.私には尊敬している先輩がいます。その先輩は行動力もあり、何にでも全力で取り組んでいます。私もその先輩のようになりたいと思い、立候補しました。先輩を見習って、生徒の皆さんの役に立てるように全力で頑張りたいです。

#### Q.どんな生徒会長になりたいですか？

A.私は行動力のある生徒会長になりたいです。やりたいことや改善したいことを言うだけでなく、実際に形にしていけることが生徒会長の役割だと思いますのでどんどん行動していきたいです。

#### Q.松浦高校をどんな学校にしたいですか？

A.私は生徒の意見やアイデアがしっかりと反映されている学校にしたいです。理由は生徒自身が学校を作っていくという意識を持つことで、もっと学校が楽しく活気のある場所になると思うからです。

2年3組 桐木 龍馬 (鷹島中)

生徒会副会長になりました、松永です。私はクラスマッチや文化祭などの行事をもっと盛り上げたいと思っています。去年よりも積極的に自分から動いていきたいです。校則の改定や行事の活性化など生徒全員が楽しめるような学校づくりを生徒会で作っていききたいと思います。



生徒会副会長

2年3組 松永 璃星羅 (田平中)

こんにちは。生徒会副会長に任命していただきました、久保川愛子です。行事や校則見直し委員会など先輩方の活動を私たちが引継ぎ、更に楽しい行事をつくったり、生徒の意見を反映した校則に見直したりできるように昨年の経験を活かして頑張っていきます。副会長としての自覚と覚悟を持ち精一杯頑張ります。



生徒会副会長

2年1組 久保川 愛子 (調川中)

執行部：2年1組 松山 凛香 (大島中)

2年2組 赤木 瑛太 (志佐中) 川上 慶大 (志佐中) 田川 優心 (今福中)

濱田 凌 (志佐中) 山崎 廉 (志佐中) 山下 愛結 (平戸中)

山本 琉貴 (志佐中)

2年3組 池野 愛礼 (調川中) 坂本 礼和 (鷹島中) 松田 脩吾 (志佐中)

村尾 明斗歩 (志佐中) 中村 美結 (田平中)

1年1組 金子 真帆 (志佐中) 川畑 苺 (御厨中) 川原 弥代唯 (調川中) 下松 香恋 (鷹島中)

福田 恵唯 (志佐中) 前川 咲來 (福島中) 前田 彩奈 (御厨中) 前田 妃希 (調川中)

望月 百花 (志佐中) 松田 湖々南 (御厨中) 吉田 滯 (調川中) 山下 葵衣花 (福島中)

藤澤 萌々菜 (志佐中)



## 表彰伝達式

6月23日（月）・7月4日（金）に表彰伝達式が行われました。皆さんのこれまでの努力の成果だと思います。本当におめでとうございます。



全九州高等学校 なぎな競技大会  
個人試合 第3位  
3-3 崎田 愛（志佐中）



長崎県商業教育研究会主催  
英語スピーチコンテスト  
レシテーションの部 3位  
2-1 石橋 大翔（御厨中）

## まつナビ中間発表

6月25日（水）に2学年によるまつナビ中間発表が行われました。地域の方や学校関係者および長崎県立大学の学生からアドバイスをもらい、今後の活動につながるものになりました。

## 探究テーマ

- ★ 方言を辿る
- ★ 空き家をつなげる！
- ★ 福島町の椿を使ってスクラブ体験をしよう！
- ★ 松浦の野良猫問題
- ★ 未来予想図
- ★ ゴミをリサイクル
- ★ SNSを使って松浦の観光地をPRしよう
- ★ 松浦高校のグッズ開発
- ★ まつドリー焼きを通して松高の知名度を上げる
- ★ お茶漬け開発
- ★ 米ぬかでボディケアグッズを作ろう!!!!
- ★ 笑顔でつながる地域の輪
- ★ 海ベンチ
- ★ 本でつながろう
- ★ 松浦をもっと明るく



風薫る丘も夏休みに入ります。  
次の発行は9月になります。



## 寄付金について



福田海運株式会社様よりなぎなた部へ遠征費・武具購入費として寄付金をいただきました。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

## 命のつながり

今年は昭和でいうと「昭和100年」。昭和20年8月に終焉した太平洋戦争から間もなく80周年を迎えます。終戦時に生まれた人でもすでに80歳、当時の高校生（旧制中学生）なら100歳近くになります。恐らく皆さんの「お父さんのお父さんのお父さん」、つまり曾祖父・曾祖母世代が若い時に戦争を経験されたと思います。皆さんは、あなたの命につながるそうした方々の当時の苦しみや奮闘を考えたことはありますか。私には中国東北部の満州からソ連軍の銃弾・砲弾に追われながらも何とか日本に帰還し、私の母を生み、私に命をつないでくれた祖母がいました。すでに他界しましたが、毎年8月になると今の自分の命は祖母のおかげだと感謝しています。昭和100年、戦後80年の節目の年。戦没者への追悼にあわせて、ぜひ今のあなたの命につながる方々へ思いを馳せてみてください。



校長  
宮崎 哲郎